



秋だ！稲刈りだ！

「土づくり」だ！！

秋の土づくりは、がんばった農地への恩返しです。

日本一健康な土づくり強化月間

○「堆肥散布」と「すき込み」で農地へ栄養補給しましょう。



排水の悪いほ場は堆肥散布に努めましょう。



稲わらのすき込みは、秋を基本に、腐熟促進剤を活用しましょう。

来年に備えて、収穫後は「土壌診断」を受けましょう！

○「稲わら」は、堆肥やすき込み、家畜飼料として有効に活用しましょう。

わらを必要とする人へ提供します



稲わらふりーでん

品質のよいわらは飼料になります



耕畜連携で家畜飼料に



稲わらの有効利用に関するご相談は、市町村「稲わら相談窓口」まで！

日本一健康な土づくり運動展開中

支援します！地域ぐるみの「土づくり」

作業組織を作って、 地域ぐるみで取り組もう！

高齢化や労働力不足で、土づくりができない農業者のため、稲わらの収集や堆肥の散布などを行う**組織づくり**が必要です。

県では、土づくりに取り組む組織の活動経費や、地域の堆肥センターの修繕等を助成し、**良質の堆肥**が流通するよう支援します。



プラウによる組織的な稲わらのすき込み

◆支援内容

(1)土づくり作業組織の育成

- 作業計画・マップの作成
- オペレーターの研修費
- 作業補助員の臨時雇用
- 作業用機械の借入れ（レンタル・リース）
- 作業に必要な情報関連機器等の整備
- エコ資材を使った実証ほの設置 など

(2)堆肥・稲わらセンターの利用促進

- 専門家の指導・助言
- 堆肥・土壌の分析等（機器整備含む）
- 堆肥・稲わらセンターの修繕・改造 など

☆補助率 1／2以内

☆事業主体 農業者が組織する団体等

☆事業期間 平成19年度から20年度

◆採択要件

(1)土づくり作業組織の育成

- 稲わら収集や堆肥散布などの作業計画を策定すること
- 作業面積はおおむね20ha以上

(2)堆肥・稲わらセンターの利用促進

- 堆肥センターの利用促進計画を策定すること
- 施設の利用率が70%以上

決め手は
土づくり!!



健康な土づくりに関するご相談は最寄りの農協、市町村、各県民局地域農林水産部へお問い合わせください。